

## 第2回政府交渉と署名提出

日時 11月16日(水) 午後1時より

場所 衆議院第1議員会館 第7会議室

集合場所 午後0時45分から 衆議院第1議員会館 玄関集合

予定 午後1時に打ち合わせ、午後1時20分に食品安全委員会へ抗議文、午後2時に環境省と交渉、午後3時に保安院、原子力安全委員会と交渉、午後4時に文部科学省と交渉予定

出席できる方は、必ず事務局までご連絡ください。072-336-7201

## 第2回政府交渉への参加を呼びかけます！ 原発推進勢力の巻き返しを止めましょう！

全国の皆様の協力で署名が3000を超えましたので、第1回の提出を行います。まだ多いとは言えませんが、原発推進勢力の巻き返しに抗議することが大事だと考え、環境省と保安院・原子力安全委員会へ手渡します。見届けてひとこと言いたいという方はぜひご出席ください。あわせて署名内容に基づく交渉を行います。温暖化防止、原発ストレステストに加えて、「放射線副読本」を問題にします。

内閣総理大臣 野田義彦様、文部科学大臣 中川正春様、経済産業大臣 枝野幸男様、環境大臣 細野豪志 様

### 質問書

2011年11月16日

地球救出アクション 97、若狭連帯行動ネットワーク、双葉地方原発反対同盟、奈良脱原発ネットワーク、ヒバク反対キャンペーン

#### 1 気候変動枠組み条約 COP17 へ向けて、京都議定書に責任を持つ行動を行ってください。

(1) 京都議定書の延長に頑なに反対する姿勢を改め、「2℃目標」の達成のために、第2約束期間の温室効果ガス削減を有効なものにするようにつとめるべきだと考えますが、どうですか。

(2) 大量排出国の米国や中国に対して、2013年以降の排出削減目標を約束し、京都議定書の第2約束期間または法的拘束力を持った「新しい枠組」へ参加するよう働きかけるべきだと考えますが、どうですか。

(3) 途上国に対する CDM (クリーン開発メカニズム) に原発を入れる主張はやめて、COP15 で約束した途上国に対する支援を実行すべきだと考えますが、どうですか。

(4) 京都議定書の第1約束期間の日本の約束「6%削減」は達成可能と考えていますか。それはいかなる方法を通して達成するのですか。

(5) 政府の中長期目標「2020年までに25%削減」を堅持し、温暖化防止基本法を早期に制定し、原発に依存しない排出削減計画を作るべきだと考えますが、どうですか。

(6) 来年夏までのエネルギー政策の見直しにおいて、発電と送配電を分離して、原発停止、節電・省エネの実施、再生可能エネルギーの大幅増を通して、「環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築」に向けて前進する方向を打ち出すべきだと考えますが、どうですか。

フクシマ事故の反省の上に立って、日本は「環境への負荷の少ない持続的発展が可能な」世界の実現に向けて国際社会をリードすべきではありませんか。

(7) 環境税を即刻導入して、再生可能エネルギーの普及や省エネの促進にあてるべきだと考えますが、どうですか。

#### 2 ストレステストによって原発を再起動させないでください。

フクシマ事故を受けこれまでの原発安全規制体制の見直しが行われ、新年度には新しい体制が発足する予定です。したがって、原発を推進しフクシマ事故を回避できなかった原子力安全保安院や原子力安全委員会が審査を行うべきでないと考えます。

(1) ストレステストは、事業者が評価を行い、原子力安全保安院は提出された評価結果の評価をするだけであり、どれだけの余裕度であれば安全かという判断基準がなく、最終的には政治判断に任せられると考えられます。この認識でまちがいありませんか。また、基準もなくどのように評価するのですか。

福島第 1 原発は事故前には安全基準を満たしていたと考えますか。満たしていたのならば、事故はなぜ起きたのですか。事故が起きたことに関して、原子力安全保安院はどのような責任があると考えますか。

(2) フクシマ事故はいまだ収束せず、事故原因の詳細な究明もできていません。それにもかかわらず、ストレステストは現在の安全基準に基づき行われます。原発の安全評価は、フクシマ事故の詳細な究明を行った後に新しい安全基準に基づく新しい設計基準により行われるべきと考えますが、どうですか。

したがって、事故を究明し新しい基準が作られるまでは稼働中のものを含めて全原発を冷温停止状態にすべきと考えますが、どうですか。

### 3 文部科学省の「放射線副読本」について

(1) 政府は国策として原発を推進し、文科省は原発推進の副読本を作り全国の学校に配布してきました。原発を推進した結果フクシマ事故を起こしてしまったことに文科省として反省はありますか。

今回文科省が作った「放射線副読本」には、反省の言葉がありません。また、政府が実際に原発推進を見直しているという事実も書かれていません。理由を説明してください。

(2) 「放射線副読本」は放射線が医療の役に立つことを前面に押し立てています。フクシマ事故による放射能汚染の拡大、汚染の深刻さについて一切書かれていないのはなぜですか。

(3) 「一度に 100 ミリシーベルト以下の放射線を人体が受けた場合、放射線だけを原因としてがんなどの病気になったという明確な証拠はありません。」の文言が特に印象に残るように書かれています。

副読本の作成にあたって、広島・長崎の被爆者の非常に低い線量の被曝でガンが増加し様々な病気や症状が出ているというデータや調査研究を検討しましたか。

子どもたちの被曝をできるだけ減らすためには、子どもたちに対して放射線は危険だという意識を持たせることが大切です。被曝を減らす必要に反して、どうして放射線を少々浴びても大丈夫であるかのような教育を行うのですか。

地球上にもともと存在しない放射性物質がフクシマ事故によって大量にまきちらされ、それを今後継続して管理し、その中で生活しなければならぬという重い課題を子どもたちに背負わせてしまったのですから、被曝をできるだけ減らすことの大切さを教えるべきではありませんか。

(4) 原子力発電所で働き被曝し健康を破壊され亡くなり、労災認定された人の累積被曝線量は 100 ミリシーベルト以下であったことが明らかになっています。100 ミリシーベルト以下は被曝してもよいというような教育が許されると考える理由を説明してください。